

# Create

新しい学術コミュニケーション・システムの創成へ！

# Change

古い学術コミュニケーション・システムからの変革を！





# Create Change

[www.createchange.org](http://www.createchange.org)

## 学術コミュニケーションとは 研究者自身のシステム



学術コミュニケーションは、世界の研究コミュニティ及び教育コミュニティへ貢献するために存在しています。著者は、研究者、学生共に、全ての学者仲間と新しい知見を共有することを望んでおり、また読者は、関連する全ての文献にアクセスすることを望んでいます。

しかし、学術コミュニケーションの伝統的なシステムはもはや役に立っていません。世界中の図書館や関係機関は、学術情報資源の増大する量と高騰する価格にもはや追いつけない状況にあります。著者は、研究成果を購読できるか、またはライセンス契約により研究成果へのアクセスを許可された機関に所属している幸運な研究者との間だけで情報交換しているのです。読者は、その分野のきわめて重要な論文を知らないまま見逃し、わずかな関連文献のみにアクセスしているに過ぎません。

デジタル革命が約束したはずの費用の縮小とアクセスの拡大は、価格の吊り上げと利用の制限によって収入を最大限得ようとしている出版者によって脅かされています。しかし、この流れに対抗する努力より少ない社会的コストでより広いアクセスを提供するための新しいテクノロジーとビジネスモデルの採用は、その勢いを得つつあります。

それらの努力を成功させ確実にするには、学術コミュニティの参加が不可欠です。私たちとともに、研究者のニーズと未来の研究者・学生のニーズに合った新しいシステムを発展させましょう。

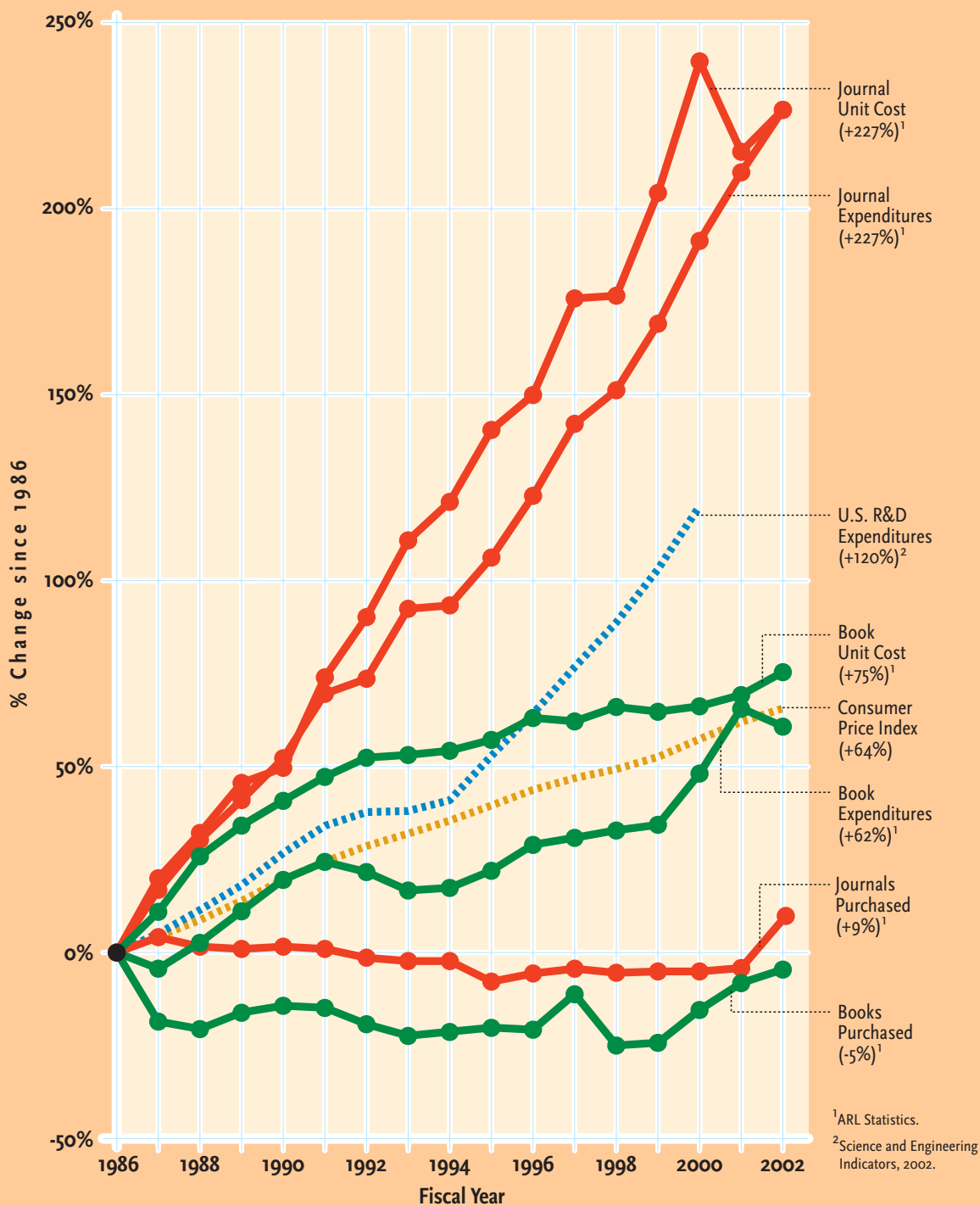
**いまこそ変革のとき！**



# Create Change

www.createchange.org

## 北米の研究図書館における書籍と雑誌の経費変遷 1986~2002





# Create Change

www.createchange.org

## 現在のシステムはもはや役に立っていません。

ほとんどの大学キャンパスで雑誌の予約購読がキャンセルされ続けているため、必要な論文の所在を特定することがどんどん難しくなっていることを感じていることでしょう。

- 世界中の雑誌価格は、インフレーションや図書館予算以上に著しく急上昇を続けています。たとえば、北米の研究図書館は、雑誌購読のために2002年には1986年の経費の227%を支出しています。英国においては、1991年と2001年との間の28%のインフレーションに比べ、雑誌価格は158%上昇しました。
- これらの価格上昇は、図書館により購読される雑誌の減少と、とどまることのない雑誌キャンセルをもたらしています。
- 購読予約の削減にもかかわらず、出版者のなかには大きな利益40%を超えるケースもあるを上げ続けています。
- 商業誌の出版者は、買収や合併を通じ、また学協会から個別のタイトルを買い取るにより、市場支配力を強めています。合併はきまって購読予約価格の大きな上昇をもたらしています。
- いま、多くの雑誌がオンラインで入手できるようになる一方、このアクセスはしばしば割増しコストをもたらし、図書館予算をさらに押し上げています。そのため、多くの大学等は、大学教員や学生に対してこれらの雑誌へのアクセスを提供できなくなっています。

出版するとき、もしかしたらあなたは自分自身の研究成果を利用する権利を手放しているかもしれません。

- 著作権の譲渡契約は、通常出版者にすべての著作権を排他的に包括的に譲渡することが要求されます。従って、その後研究成果のあらゆる公的な流通をコントロールする権利が失われることとなります。
- 自分自身の研究成果の利用についての制限は、教育や研究目的での個人的な配布を禁止することもあります。一般公開されているウェブ・サイトやアーカイブへの提供も同様です。

学術研究の将来有望な手段である電子出版にも、特有の課題があります。

- 主要な出版者のなかには、法的および技術的な保護手段によって、電子情報へのアクセスの制限を模索しています。
- 大学構内で利用できる電子的な情報源の多くは、教員や学生がどのようにそのコンテンツを利用できるかを規定したライセンス契約によって縛られています。
- 出版者のなかには、追加アクセスを提供するために、その出版社のすべての電子ジャーナルを一つのパッケージにまとめて販売していますが、それらのパッケージへのライセンス料は図書館予算の大部分を占めるようになっています。このことは、より小規模な出版者の品質の高い雑誌の購読予約資金を転用しているからできるのです。
- 小規模の学会や大学出版会は、新しいメディアに投資するだけの資本を持っていませんし、彼らの雑誌が電子的に利用できるようになれば、冊子体購読が減少するのではないかとこのことを憂慮しているのです。

- オンライン専用の雑誌出版者は、大学等の著者が昇進と資金獲得プロセスにおいて電子出版が価値を持つと理解しない限り、価値ある原稿を引きつけられないのではないかと危惧しています。
- 図書館は、電子メディアに関して、長期間保存及びアーカイブの問題を懸念しています。

あなたの大学の、文系の若い同僚は、最初の著作を出版してくれる出版者を見つけることが出来ないかもしれません。

- 過去15年間の間に、文系の分野での、各種機関や大学からの出版のための補助金は実質的に消滅してしまいました。
- 英国の大学等の図書館では、高い雑誌価格のために、学生一人につき今日購入する図書は8年前と比べて19%減少しています。北米の研究図書館では、2002年には1986年に比べて62%以上も支出増となっているにもかかわらず、図書の購入は5%減少しています。
- 図書館予算が高額雑誌によって圧迫されているため、書籍の市場は縮小されました。多くの学術図書は、10年前には1500部は販売されていましたが、今やそれは200-400部ほどにとどまっています。
- 大学出版会は、出版費用がまかなえないという理由で、市場での売り上げが見込めない価値ある原稿を拒否しています。





# Create Change

[www.createchange.org](http://www.createchange.org)

## システムは変わりつつある：研究者自身が重要だ。

- 学術コミュニケーション問題や、その変革への提言についての議論を、学部や大学で推進しましょう。
- 可能なかぎり、アクセスに対して読者や所属機関への料金を課さない資金調達モデルを採用しているオープン・アクセス誌で出版しましょう。オープン・アクセス誌の編集委員会や、論文査読に貢献しましょう。（オープン・アクセス誌のリストは、[www.doaj.org](http://www.doaj.org) の Directory of Open Access Journalsをご覧ください。）
- 昇進や資金獲得に関する議論のなかに、電子出版に関するものも含めましょう。
- 自分の学会に、商業出版者に対して出版契約を結んだり、出版物を販売する場合に、代替する出版方式を調査することを勧めましょう。
- 学会に、低廉な価格とユーザーフレンドリーな利用条件を維持する（または採用する！）ことを勧めましょう。
- 学会に、高額な商業誌に対する強力な対抗手段の開発を検討することを勧めましょう。
- もし可能ならば、出版者と結んだ契約書を修正して、公共のアーカイブに掲載することも含めて、自分の研究成果を利用できる権利を確保できるようにしましょう。
- 著者、レフェリーまたは編者としてかわっている雑誌について、価格、著作権および購読予約ライセンスについての契約事項を慎重に検討してみましょう。
- 高額誌のためのレビューを辞退するか、編集委員を辞職するか、図書館が高額で利用頻度の少ない雑誌をキャンセルすることを支持するか、あるいは同じことを同僚にも勧めるなどによって、自分が研究者として持つ影響力について考えてみましょう。
- 大学の知的財産に関するポリシーについて調査し、またその策定にも参加しましょう。
- 学術コミュニケーション問題を議論するために、部局の会議や大学院のセミナーに図書館の参加を要請しましょう。
- 自分の所属機関の知的財産を永続的にアーカイブする機関リポジトリを開設するように、所属機関や地域コンソーシアムに勧めましょう。  
([www.arl.org/sparc/IR/ir.html](http://www.arl.org/sparc/IR/ir.html))
- 研究成果（論文の予稿や投稿を含む）を、地域の機関リポジトリや、自分の専門分野のリポジトリへ寄託しましょう。
- コーネル大やウィスコンシン大で行われたように、雑誌の対費用効果の研究に習熟しましょう。  
([www.createchange.org/resources.html](http://www.createchange.org/resources.html))
- 自分の大学図書館の SPARC ([www.arl.org/sparc](http://www.arl.org/sparc))、欧州 SPARC ([www.sparceurope.org](http://www.sparceurope.org)) メンバーへの参加を勧め、学術出版市場に競争を促しましょう。
- 自分の専門分野で、SPARCが支援した雑誌へ論文を投稿しましょう。SPARC編集委員会を務めましょう。また、SPARC関係の雑誌のために論文のレビューを行うことを承諾しましょう。

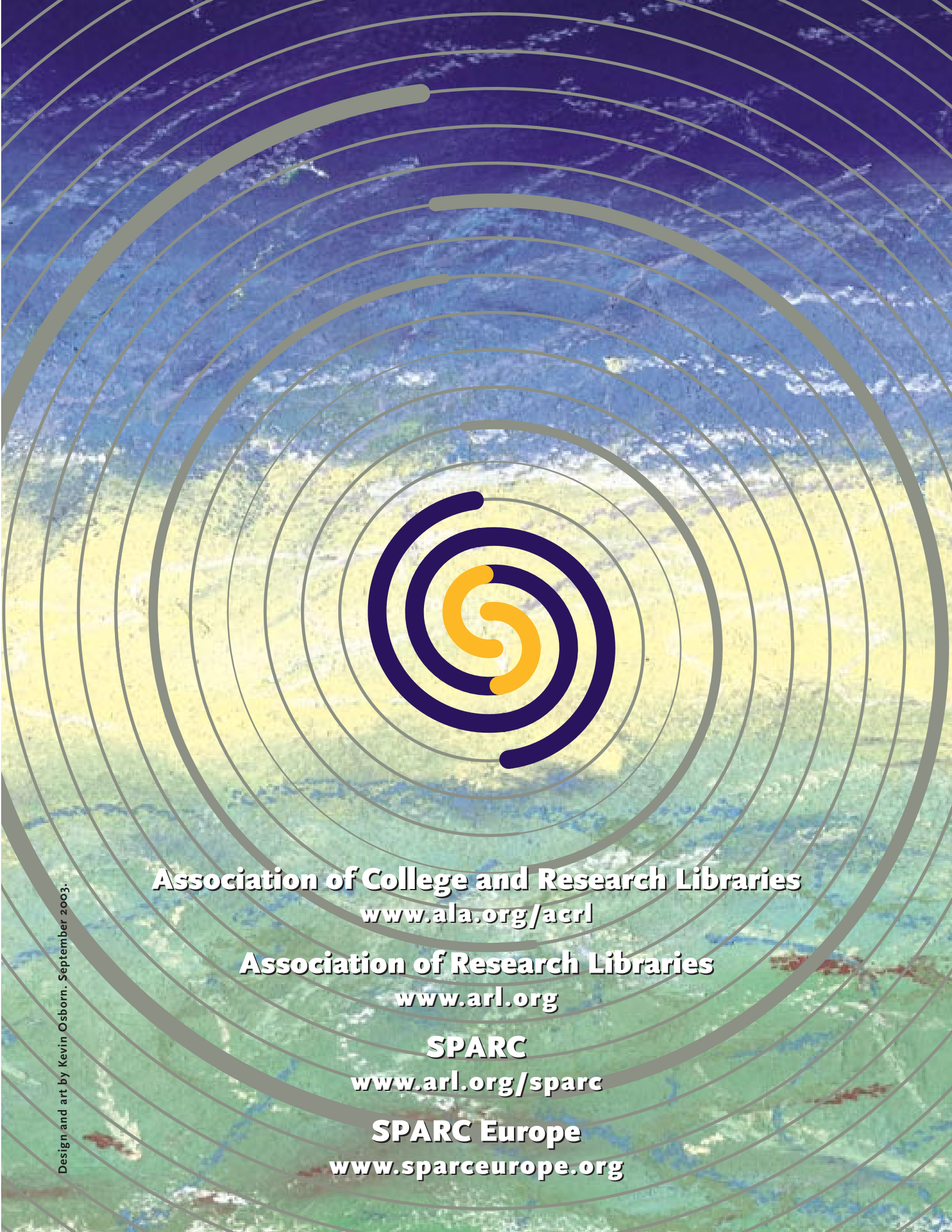
## 雑誌の編集者を務めているならば：

- 雑誌のビジネス的な側面に関わりを持ちましょう。
- 適切な価格とアクセス・ポリシーのために一他の編集委員がこの成功の戦略を発見できるように、自分や編集委員会の影響力を用いて働きかけましょう。
- 出版者の代表者と会うときには、図書館員も伴いましょう。
- 権限があるならば、その雑誌を非営利出版者に移すか、新しいジャーナルを創刊することを検討しましょう。

## この問題についての情報は：

自分の大学の図書館の窓口担当者に連絡するか、Create Changeウェブ・サイトをご覧ください

このパンフレットの冊子をご希望の方はこちらにご連絡ください。  
e-mail: [pubs@arl.org](mailto:pubs@arl.org).



**Association of College and Research Libraries**  
[www.ala.org/acrl](http://www.ala.org/acrl)

**Association of Research Libraries**  
[www.arl.org](http://www.arl.org)

**SPARC**  
[www.arl.org/sparc](http://www.arl.org/sparc)

**SPARC Europe**  
[www.sparceurope.org](http://www.sparceurope.org)